



大阪市生野区
い かい の
第11回 **旧猪飼野・コリアタウン**



朝鮮から鉄の技術を伝えた渡来人の伝承を持つ比売許曾(ひめこそ)神社や、仁徳天皇が朝鮮の百濟(くだら)の人々の文化などを見聞したこと由来する御幸森(みゆきもり)神社などが点在する。また、「鶴橋」の語源とも言われ、文献で残る最古の橋「つるのはし」の史跡もある。このあたりは1973年の町名変更までは「猪飼野(いかい)」と呼ばれていた。奈良時代から平安時代には平野川の水運に恵まれて、多くの渡来人が住み、その技術と文化を伝えた地であった。

御幸森神社横の御幸通商店街を西に入る。屋根のある大きな門が見え、「KOREA TOWN」「百濟門」の文字が見える。在日コリアンたちが中心となって、コリアタウン構想を立ち上げて、日本人とともに商店街を整備した。ここでは、キムチやチヂミの匂いがたぐい、鮮やかな民族衣装のチョゴリや生活雑貨などの店が軒を連ねる。会話の中で朝鮮語が飛び交う。そして、現在では、学校の総合学習で、外国人とともに暮らす多文化共生の街としてフィールドワークに訪れたり、府外からの修学旅行もある。また、「韓流ブーム」の

JR環状線 鶴橋駅を降りて東に進むと、南北に走る通称「疎開道路」と交差する。この「疎開道路」を南に沿って、古代、

影響を受けて訪れる観光客が増えるなど、様々にその形を変えている。

現在生野区には、3万人を超える在日コリアンが住み、それは区の人口の4分の1。国籍に限らず韓国・朝鮮にルーツを持つ人はもっといいる。日本の植民地政策によって1910年に朝鮮を併合したことや、朝鮮と大阪を結ぶ直行船が就航したことにより、多くの朝鮮人が生活のために日本に渡った。そして、生野・東成区にあった町工場で働くようになり、平野川の改修工事にも従事したという。

1500年も前の古代には、この猪飼野に、朝鮮からたくさんの渡来人が住み、大陸の技術や文化を伝えた。そこには尊敬があったであろう。そしてこの100年ほどは、日本による戦争での生活苦の中で移り住んだ韓国・朝鮮人の人々たちに対しては、植民地支配に裏付けられた不当な差別のまなざしもある。この相反する歴史を感じながら、今、多文化共生や「韓流ブーム」の中で、新たな「共生」を求めつづける街がある。



編集後記

- 1冊の情報誌を作るためには、様々な知識が必要です。もっとしっかり歴史を勉強しておけば、と実感しています。(T)
- 「地域で行う講演会で“そうぞう”を配りたいんですが」、「紹介されている方を講師に呼びたいんですが」というご連絡をいただく事があります。本誌が、人権啓発・教育に携わる皆さんが繋がるツールの一つになればと思っています。(M)

気持ち

泉佐野市 小学四年生(当時) 遠藤 悟

友達のオモチャをこわしてしまっただけはあやまった
友達はおこらなかつたけど
悲しい顔をしていた

お兄ちゃんにオモチャをこわされた
お兄ちゃんはおくにあやまった
ぼくは悲しくてなきながらおこった

自分のオモチャをこわされて
初めて気付いたあの時の友だちの気持ち
自分のオモチャをこわされてなかつたら
気付かなかつたあの時の友達の気持ち

イヤな事は されてなくても
これからは ちゃんと考えるよ
友達のお気持ち
みんなのお気持ち

2004年度人権啓発詩・読書感想文募集事業
(大阪府大阪府教育委員会・愛ネット大阪(財)大阪府人権協会の入選作品より)

2005(平成17)年12月発行

この情報誌は20,000部作成し、1部あたりの単価は48円です。

発行/大阪府企画調整部人権室

編集/財団法人大阪府人権協会

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目
TEL.06-6941-0351 FAX.06-6944-6616
http://www.pref.osaka.jp/jinken/

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12
TEL.06-6568-2983 FAX.06-6568-2985
http://www.jinken-osaka.jp



「そうぞう」とは

人権尊重社会を実現するためには、様々な偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」すること、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように一そんな思いが込められています。